

国の施策の方向（１） デジタルの力を活用した地方の社会課題解決・魅力向上

国の施策の方向（１）－② 人の流れをつくる

基本目標２

笑顔があふれる新たな人の流れをつくります。

人口減少の抑制のためには、「転出の減少」と「転入の増加」を図り、「しごと」と「ひと」の好循環による、地方への新たな人の流れを生み出すことが必要となります。

新しい人の流れをつくり、受け入れ体制を確保することが重要であることから、住環境の整備を進めるとともに、移住者に向けた支援についても検討を進めます。

また、村の魅力を広く村外に発信するとともに、発信の方法などについても検討を行い新たな関係人口の創出・拡大につながる施策を進めていきます。

「新・人材育成」事業の推進にあたっては、事業に携わる経営者や研究者との交流、村外からの生徒との人材交流を促進します。

（１）数値目標（令和６年度）

目 標	目標値
転入超過数	５年間で５０人
関係人口数	５年間で１,５７０人

（２）講ずべき施策に関する基本方向

- 各種移住促進施策を推進し、首都圏からの移住を促進します。
- 定住人口の増加を図ることから、住宅建設者に対して支援を行います。
- 定住者の住宅環境を充実することから、村営住宅の改修とともに民間活力による賃貸住宅の建設を支援し定住・移住の増加を図ります。
- 空港、高規格道路等のアクセスの良さと災害が少ないという地理的条件等を積極的にPRし移住・交流人口の増加を図ります。
- 「新・人材育成」事業の推進にあたっては「外からの」人の流れをつくり、交流促進から移住定住の拡充を図ります。
- 市街地の活性化と併せて、村全体のブランディングとマーケット戦略を策定し首都圏からの交流人口の増加を図ります。
- 村への関心を高めるための広報や情報発信を行うとともに、関係人口や移住者等の受け入れ態勢を構築し移住推進を図ります。
- 企業版ふるさと納税の活用により、地方創生の取り組みへの企業の参画を促進し、更なる地域活性化を図ります。

(3) 施策ごとの重要業績評価指標（KPI）と具体的な取り組み

○施策1 人の流れの創出

項目	重要業績評価指標（KPI）
住宅建設事業申請件数	5年間で40件
定住化促進住宅の入居数	5年間で5戸
リフォーム支援申請件数	5年間で50件
「新・人材育成」事業関係人口数	5年間で延べ1,500人
さらべつまるごとブランディング計画関係人口数	5年間で延べ70人
移住者数	5年間で50人
ふるさと納税寄附額	5年間で1億円
企業版ふるさと納税寄附額	5年間で5,000万円
村営住宅改修棟数	3棟（令和6年）

(1) 移住定住の推進

移住・定住を推進し人口を確保するとともに、村内経済活性化のために住宅建設等の支援を行います。

[内容]

- ① 住居確保に向けた住宅建設補助事業の推進
- ② 移住定住に向けた住宅リフォーム制度の検討・整備
- ③ 村営住宅の定期的な改修
- ④ 賃貸住宅建設促進事業の推進
- ⑤ わくわく地方生活実現政策パッケージ事業の推進

(2) 関係人口の創出

更別村の魅力や環境の良さについて広くPRを行い、関係人口の増加を図るとともに、「行ってみたい」「住んでみたい」というイメージをつくります。

[内容]

- ① 村のPRを積極的に行い広く周知を図る
- ② 「新・人材育成」事業による人材交流の促進

(3) ふるさと納税の活用

ふるさと納税・企業版ふるさと納税の活用により特産品の消費拡大や機業や個人と村とのつながりを構築します。

[内容]

- ① ふるさと納税の取り組みの拡充
- ② 企業版ふるさと納税の活用